

2020年12月1日より
スタート!

入院セットのご案内

新型コロナウイルス感染予防対策に! 洗濯物の持ち運び不要! 緊急でのアイテム不足でも安心!

患者さんの身の回りの衛生環境向上と、ご家族のお洗濯のお手間軽減を目的に

入院セットを導入しました。入院時に必要な衣類や日用品のご準備が不要になります。

基本セット

〈Aタイプ〉

パジャマ、バスタオル、フェイスタオル、日用品*

〈Bタイプ〉

パジャマ、リハビリウェア、バスタオル、フェイスタオル、日用品*

*日用品:必要なアイテムを必要な都度ご利用いただけます。[日用品の内容]ボディシャンプー、リンスインシャンプー、カップ、ティッシュ、歯ブラシセット、入れ歯洗浄剤、入れ歯ケース、デンタルリンス、マスク(1入院につき1箱)、ヘアブラシ

おむつセット

〈Cタイプ〉

1日中テープ式おむつまたはリハビリパンツを使用される方

〈Dタイプ〉

日中はリハビリパンツ、夜間はテープ式おむつを使用される方

オプション

・肌着、下着、靴下

詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.maki-group.jp/makireha/>



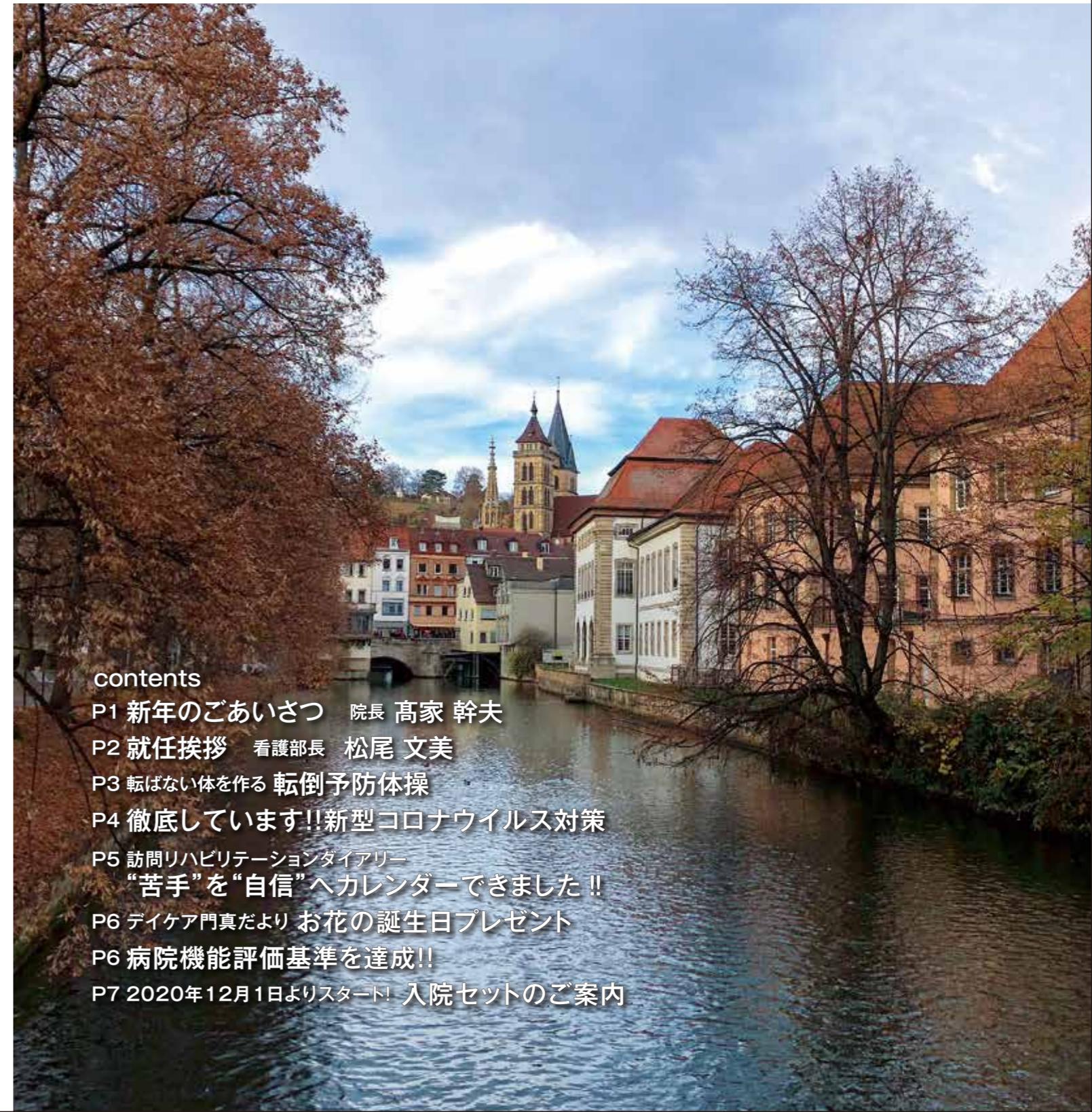
[お問い合わせ先]

医療法人 清翠会 牧リハビリテーション病院

〒571-0015 門真市三ツ島3丁目6番34号

URL <http://www.maki-group.jp>

TEL.072-887-0010



contents

P1 新年のごあいさつ 院長 高家 幹夫

P2 就任挨拶 看護部長 松尾 文美

P3 転ばない体を作る 転倒予防体操

P4 徹底しています!!新型コロナウイルス対策

P5 訪問リハビリテーションダイアリー

“苦手”を“自信”へカレンダーできました!!

P6 デイケア門真だより お花の誕生日プレゼント

P6 病院機能評価基準を達成!!

P7 2020年12月1日よりスタート! 入院セットのご案内

Merry Christmas and a Happy New Year! 2021

明けましておめでとうございます。

4年前の本誌では欧米のクリスマスと新年の挨拶のことをお伝えしましたが、その際に、トランプ新大統領とポピュリズムの懸念についてもふれました。今回彼は負けたものの接戦で、国民の90%分の富を僅か0.1%の人間が握っている歪みへの憤りが、トリックスターのトランプに幻惑される熱狂を生んでいるように見えます。しかし、同じキリスト教文化圏でもメルケルさんの国では雰囲気が全く異なるようです。



表紙の写真はドイツ共和国南西端の州にあるエスリンゲンという街の川面の風景です。中央に見える人通りを右に入ると、回廊城壁に守られた旧市街に中世の美しい木組みの家が並びます。年末のクリスマスマーケットは手廻し観覧車や薪で焼くパンなど中世を模したもので賑わい、旅行者には異国情緒満載です。町を流れるネッカー川は隣の州都シュトゥットガルトに水運をもたらし、州中央を北上して沿岸の工業を支えライン川に合流します。又、州の南西には有名なシュバルツバールト(黒い森)があり、その北には世界遺産マウルブロン修道院があります。ノーベル文学賞作家ヘルマン・ヘッセの“車輪の下”や“知と愛”に描かれていますが、事実彼はこの修道院の神学校に入ったものの精神を病み、半年で脱落したそうです。その作品に描かれ



ている都会のシュトゥットガルトは、実際、ドイツを代表する工業都市でベンツやポルシェの本社があり、中央駅の時計塔の屋上には黄金に輝くベンツマークがゆっくり回旋しています。周辺の駅のプラットホームで地図を広げていると、小さな子を連れた若いお母さんがサッと寄ってきて、どこへ行かれますか?とさり気なく声をかけてくれます。電車には、可愛い幼稚園児達がよく乗っていて、この国は安泰だなと思われます。

又、シュトゥットガルトのクリスマスマーケットはドイツで2番目に古い歴史があり、子供たちは屋外スケートや小型機関車などで楽しみ、大人は写真のような陶器のカップに入ったグリューワイン(熱燗で飲むハーブ入り赤ワイン)で凍える冬を楽しめます。因みに、このグラスの紋章はシュトゥットガルト市のもので、ポルシェの跳ね馬のデザインの元になっているそうです。

皆さんがゆっくりと旅行を楽しめる世界が早く戻りますよう切に祈ります。

院長 高家 幹夫



就任挨拶

看護部長

松尾文美
AYAMI MATSUO

今までの経験を活かして、回復期の患者さん・ご家族へ質の高い看護・介護を提供できるように精進いたします。

2020年10月1日付で牧リハビリテーション病院に看護部長として着任いたしました松尾文美です。

1982年に和歌山赤十字看護専門学校卒業後、日本赤十字社和歌山医療センターに入職し、消化器・胸部外科病棟、助産師として産科病棟、附属の看護専門学校で専任教師として勤務しました。その後、病院に戻り師長として中央滅菌材料室、産科病棟、外来で勤務し、副部長としても勤務しました。2007年に東京の日本赤十字社本社へ転勤し、全国の赤十字病院看護部と赤十字看護専門学校への支援やキャリア開発ラダー普及の促進等に携わりました。本社勤務後、日本赤十字看護大学大学院で修士課程を修了しました。

36年間の赤十字在職中は海外救援活動にも参加しました。カンボジアの首都プノンペンでの病院支援を9か月間、地震被災者救援で、インド、イラン、パキスタン、インドネシアでそれぞれ1～2か月間活動しました。また、イギリスのバーミンガム近くのNHS(国立ヘルスサービス)の病院で6か月間の看護管理研修を受けました。赤十字病院退職後、大阪

に拠点を移して北野病院で看護部長として勤務いたしました。

私は、さまざまな職場で仕事をして参りました。



国や地域、文化の違いはあっても人が生きることや人への思いやりは基本的には同じだということです。

私たち看護職は、疾病の予防から回復に至るまでの回復過程に関わり、その人がその人らしく生活できるように支援、ケアすることであり、常に患者さんが主体です。生活するとは、食べる、眠る、排せつする、仕事をする、遊ぶ、楽しむ、笑う、悲しむ、怒る、あくびをする等々、私たちが普段当たり前と思っている様々な生きている事柄です。その当たり前のことが疾病によって、できなくなったり、上手くできなくなることがあります。それを、その人らしくできるようケアすることが看護・介護です。私の今までの経験を活かして、回復期にある患者さんやご家族への看護・介護をさらに質の高いものになるように看護部門を運営したいと思っております。また、患者さんを中心とした多職種協働のチーム医療を大切にしたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。



転ばない体を作る転倒予防体操

高齢者の転倒は骨折に結びつきやすく、そのまま寝たきりに繋がる恐れもあり、転倒予防のための運動をすることが大切です。

転倒予防のポイントは転ばない体を作ることです。その為には

- ①身体のバランスを保つこと
- ②立つ、歩く際に必要な筋力を保っておくことが重要です。

下肢はたくさんの骨と関節で構成され、多くの筋肉が働いています。転倒予防に効果的な下肢の運動を継続的に行なうことが大切です。

1. 膝の筋肉を鍛える

- ・足を上げて膝を最後までしっかりと伸ばす。
- ・左右交互に10回行う。



3. バランス：片足立ち

- ・両手で椅子を持ち10秒片足立ちする。
- ・左右交互に10回行う。



体操のポイント

- 1.息を止めずに適度にリラックスしましょう。
- 2.正しい姿勢で体操を行いましょう。
- 3.無理をせず痛みが出ない範囲で体操を行いましょう。

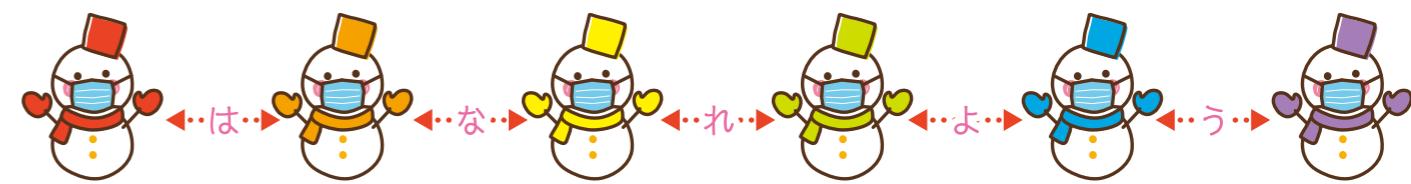
2. 足首の筋肉を鍛える

- ・つま先と踵を交互に上げる。
- ・10回を目安に行う。



4. バランス：横へのステップ

- ・両手で椅子を持ち左右交互に足を一步出す。
- ・左右交互に10回行う。



徹底しています!! 新型コロナウイルス対策

牧リハビリテーション病院は感染対策実施医療機関として感染管理委員会(ICT委員会)を中心に新型コロナウイルス対策を徹底しています。

牧リハビリテーション病院も
取得しました

No. 0013973

院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- 職員に対して、サーナカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に勤線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策(遮蔽物の設置等)を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

日本医師会 協力: 厚生労働省

No. 0013973

感染症対策実施 医療機関

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリストに沿った
対策を実施しております。

日本医師会 協力: 厚生労働省

食事中の 私語は控えましょう

- 換気の悪い
密閉空間
- 多数が集まる
密集場所
- 隣近で会話や
免声をする
密接場面

職員食堂でも
ポスターを掲示して
注意喚起しています。

コロナウイルスは気道感染症を起こすウイルスで、人畜共通感染症を起こします。

2003年の重症急性呼吸器症候群(SARS)は香港、中国、ベトナムを中心に流行し、2015年の中東呼吸器症候群(MERS)はサウジアラビアなど中東で流行しました。

原因となったのはいずれも新型のコロナウイルス SARS-CoV、MERS-CoVです。今回の新型コロナウイルスはCOVID-19と言われているもので、エン

ベロープと呼ばれる膜を有するウイルスです。このエンベロープはアルコールで破壊されるため、アルコールによる環境消毒手指衛生が有効とされています。また、適切なサーナカルマスクの着用が拡大阻止に有効な可能性があります。

三密を避け、手洗い、マスク着用を徹底し感染○を目指しています!!
新型コロナが収束し、一日も早くご家族の面会ができるようになることを願っています。



“苦手”を“自信”へ カレンダーできました!!

脳卒中後遺症のため、体の右側の運動機能が低下しておられるAさん。

昨年夏頃ご本人から「自治会で人の名前や住所を書く機会があるかもしれないけど、右手で書くのは自信がない」という発言がありました。そこで「自信を持って字を書いていただきたい!」と思い、リハビリ内容を検討し直しました。

まず右手を使う機会を増やそうと思い作業療法士に相談。Aさんの場合「運動を継続し易くするために、本人が楽しんで行える作業にした方が良い」ことや「複雑な作業ではなく、簡単で反復し易い作業の方が良い」などのアドバイスを元に検討し、「訪問リハビリの残り10分程度を毎回塗り絵を行う」時間としました。せっかくの機会なのでただ塗つてもううだけなく何か思い出に残るものを一から作ってもらいたいと思い、「カレンダー」を作成することにしました。最初は色を塗るというよりは線を“引く”ように塗っておられましたが、徐々に“塗ることになれ、うまく塗れるようになってきました。



カレンダーの絵を塗り、日付や曜日を書き、台紙にのりで貼り付ける。この一連の作業を10か月程度かけて行ってもらい、ようやく完成しました!

最初の頃は「右手があかんから」と自信無さげでしたが、塗り絵を始めてから5か月経った頃、「右手が前より少し使い易くなった」とおっしゃって下さり、自分の身体の変化に気づけるようになってきました。最近では、カレンダーの日付の枠を塗る作業を行っていますが、前に比べると塗るスピードも上がっていて、また、訪問リハビリ以外の時間に自ら塗り直されたりと、右手を使う機会が増えていると感じます。Aさんが今後自治会で名前などを書く姿が楽しみです。

【“苦手”を“自信”へ】

「苦手なことでも続けていれば上手になってくるし、いつの間にか自信になる」と私自身この機会を通して気づくことができました。みなさんもやってみたいけど一人では不安なことなどがあればまずは訪問リハビリのスタッフと一緒に始めてみませんか。

理学療法士
浅井 ちさと(あさい ちさと)



こんな毎日だからこそ、
ほんのり香る空間が
ささやかな癒しとなることを願って…

部屋にお花があるだけで、なんだか気持ちが明るくなりませんか?

昔は、お花をあげたり、もらったり、またはお花見に行かれた方も多いと思います。しかし、今は外出する機会が減り、お花に接することも減っているのではないか?と思い、今年度のお誕生日プレゼントを「お花」にすることにしました。

お花屋で注文した生花を使って、スタッフ



がアレンジメントしています。ご自宅へ持ち帰られた際、そのまま飾って頂けるように角度を工夫しながら、デザインも考えました。

また、男性の利用者さんにはどうかな?という思いもありましたが、喜んで下さっています。昔のように奥様にプレゼントされる方もおられ、奥様から喜びのコメントを頂くこともあります。

これからもこのささやかな贈り物が、利用者さん・ご家族の方々にとって癒しの一つになればいいなと思います。

介護福祉士 副主任 石田 聰子(いしだ さとこ)

日本医療機能評価機構の 病院機能評価認定基準を達成!!

牧リハビリテーション病院は日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定を受けました。

病院機能評価は、病院が備えるべき機能について、中立・公平な立場で評価を行う第三者機関として専門調査チームが審査を行い、日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成した病院に対して認定書が交付されます。認定期間は5年です。当院は2015年に初めて認定を受け、今回は2回目の認定(更新)となります。

今後も、より質の高い医療・介護サービスを提供できるよう改善活動を続け、地域住民の皆さんに満足していただける病院であるよう努めていきたいと思います。

